

必修教科の評価について

* 観点別学習状況の評価から評定へ

1 教科の学習状況について

学習指導要領の改訂に伴って、学習状況の評価は以下の内容に変更します。

<全教科 3つの観点>

観点	評価のポイント
①知識・技能	・各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価するものである。
②思考・判断・表現	・各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかどうかを評価する。
③主体的に学習に取り組む態度	・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自ら学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価する。

2 観点別学習状況の評価と評定の関係について

- (1) 観点別学習状況の評価では、「B（おおむね満足できる状況）」の基準に従い、以下の達成率を基準として【 A・B・C 】の3段階の評価を行います。
- (2) 評定は3つの観点別学習状況の評価を総括し、以下の達成率を基準として評定を【 5・4・3・2・1 】の5段階で評価します。

観点別学習状況の評価【達成率】			評定【達成率】		
A	十分満足できる	80%以上	5	特に程度の高いもの	90%以上
			4	十分満足できる	80%以上 90%未満
B	おおむね満足できる	50%以上 80%未満	3	おおむね満足できる	50%以上 80%未満
			C	努力を要する	50%未満
1	一層努力を要する	20%未満			

- (3) 評定を算出するにあたっては、3つの観点を以下の比重で重みづけを行います。
「知識・技能」：「思考・判断・表現」：「主体的に学習に取り組む態度」＝1：1：1
- (4) 各観点がすべて「A」⇒評定は「4」以上、すべて「B」⇒「3」、すべて「C」⇒「2」以下の評定になります。